



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年1月9日

上場会社名 北雄ラッキー株式会社

上場取引所 東・札

コード番号 2747

URL <https://www.hokuyu-lucky.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）桐生 宇優

問合せ先責任者（役職名）取締役常務執行役員
管理本部長兼管理部長（氏名）高橋 徹（TEL）011-558-7000

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第3四半期の業績（2025年3月1日～2025年11月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期第3四半期	27,289	1.3	30	△53.4	17	△31.2	△1	—
2025年2月期第3四半期	26,933	△3.8	65	△82.7	25	△93.5	24	△90.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年2月期第3四半期	△0.94		—					
2025年2月期第3四半期	19.76		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年2月期第3四半期	18,174	5,748	31.6	4,548.35
2025年2月期	18,175	5,715	31.4	4,522.15

（参考）自己資本 2026年2月期第3四半期 5,748百万円 2025年2月期 5,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	37,200	0.8	250	2.8	230	12.2	144	1.1	113.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年2月期3Q	1,264,640株	2025年2月期	1,264,640株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年2月期3Q	725株	2025年2月期	725株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年2月期3Q	1,263,915株	2025年2月期3Q	1,263,915株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2025年3月1日～2025年11月30日)におけるわが国経済は、雇用情勢及び所得環境の改善、インバウンド消費の増加などを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米中関係や国際的な紛争等の地政学リスクが原材料価格やエネルギーに影響を与えており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

スーパーマーケット業界におきましては、業種、業態を超えた競争の激化に加え、人件費をはじめとした各種経費の増加、物価上昇によりお客様の価格志向や消費動向にも変化が見られるなど、企業としての対応力を問われる厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社は2024年2月期から2026年2月期までの中期3ヵ年経営計画を踏まえ、以下の項目に重点を置いて営業活動を行いました。

- ①差別化戦略としての6MD商品の強化(6MD商品政策の推進)
- ②来店頻度向上を目的とする販売力の強化
- ③マーケティング力強化によるファミリー顧客層の拡大
- ④ラッキー生鮮・デリカセンターの稼働に伴う商品供給の拡大と体制の確立
- ⑤ローコスト運営の徹底と業務効率の改善による生産性の向上
- ⑥財務体質の強化

①の商品政策面では、6つの商品政策の柱(6MD)のうち、特に「テイスティラッキー」(高品質商品)、「ナチュラルラッキー」(オーガニック食材など)の二つに重点を置いております。これにより、お客様には品質の差を訴求し、競合他社との優位性を築いてまいります。

②③につきましては、従来のチラシ販促に加え、店頭におけるメニュー提案動画の配信やSNSを使った情報発信を組み合わせることによって、ストアロイヤリティの向上を目指します。お客様の利便性向上の一つの目安である、キャッシュレス決済比率は2025年11月末で65.4%となり、前年同月末の65.2%から0.2%改善いたしました。ファミリー顧客層の深耕につきましては、前事業年度から設置したフードコーディネーター部を中心とする新商品開発や、順次実施している店舗改装において、手に取りやすく、買い回りしやすい店舗づくりを行うなどの点に注力しております。また、前事業年度より、お客様のお支払い時の利便性を高めること、若年層及びファミリー顧客層の新規獲得などを目的として、dポイントを導入いたしました。

④のラッキー生鮮・デリカセンターは2021年の稼働開始以来順次稼働率を上げ、商品製造を機械化集中する事でコスト削減を実現しております。

⑤につきましては、業務推進室によるオペレーション効率の分析を通じて、商品の自動発注をはじめとした様々な業務の自動化及び労働時間の最適化に取り組んでおります。

⑥につきましては、前記の中期経営計画を実行することで収益力強化と自己資本比率向上等、財務体質の改善に努めました。

当第3四半期累計期間の売上高は272億89百万円と前期比101.3%、3億55百万円の増加となりました。売上総利益は74億43百万円、25百万円の増加となりました。売上総利益率は27.3%と、前期比0.2%減少いたしました。

販売費及び一般管理費は、75億97百万円となり前期比100.8%、61百万円の増加となりました。費目別では、期中の退職者等の与件により給料及び手当が前期比50百万円減少、賞与引当金繰入額が同20百万円減少いたしましたが、一方で、最低賃金の上昇を反映して雑給が同52百万円増加、前事業年度での白老店及び南幌店の取得等により減価償却費が同49百万円増加、エネルギーコストの増加を反映して水道光熱費が同21百万円増加となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は272億89百万円(前期比101.3%)、経常利益は17百万円(前期比68.8%)、四半期純損失は1百万円(前期は四半期純利益24百万円)となりました。

設備投資につきましては、2025年9月に「ラッキー千歳錦町店」の店舗改装及び「ラッキー低温センター」の耐震改修工事を実施しております。2025年11月30日現在の店舗数は、33店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期累計期間における資産合計は、前事業年度末と比較して793千円減少し181億74百万円であります。

その主な要因は、売掛金が1億65百万円増加、建物（純額）が1億42百万円増加、投資有価証券が1億31百万円増加、商品及び製品が1億31百万円増加したものの、現金及び預金が5億75百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期累計期間における負債合計は、前事業年度末と比較して33百万円減少し124億26百万円であります。

その主な要因は、買掛金が9億25百万円増加、預り金が1億39百万円増加したものの、短期借入金が11億円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期累計期間における純資産合計は、前事業年度末と比較して33百万円増加し57億48百万円であります。

その主な要因は、繰越利益剰余金が64百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が97百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の業績予想につきましては、2025年4月11日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、2026年1月9日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
(単位：千円)		
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,637,920	1,062,428
売掛金	1,044,285	1,210,058
商品及び製品	1,770,992	1,902,056
原材料及び貯蔵品	67,269	47,952
前払費用	87,596	133,487
未収入金	453,826	424,506
未収消費税等	18,676	—
未収還付法人税等	25,580	—
その他	5,153	7,097
貸倒引当金	△267	△267
流動資産合計	5,111,033	4,787,319
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,077,411	12,441,337
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,926,355	△8,147,792
建物（純額）	4,151,056	4,293,544
構築物	812,482	813,922
減価償却累計額及び減損損失累計額	△663,975	△678,219
構築物（純額）	148,506	135,702
機械及び装置	3,897	3,897
減価償却累計額	△1,454	△1,878
機械及び装置（純額）	2,443	2,019
車両運搬具	7,522	7,522
減価償却累計額	△7,522	△7,522
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品	447,154	457,505
減価償却累計額及び減損損失累計額	△422,368	△431,800
工具、器具及び備品（純額）	24,785	25,704
土地	6,066,247	6,066,247
リース資産	1,396,488	1,679,590
減価償却累計額及び減損損失累計額	△559,802	△740,579
リース資産（純額）	836,685	939,011
建設仮勘定	9,185	—
有形固定資産合計	11,238,909	11,462,228
無形固定資産		
ソフトウェア	39,232	30,056
のれん	14,755	12,249
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	72,216	60,534
投資その他の資産		
投資有価証券	280,686	411,934
出資金	479	479
長期前払費用	41,023	38,825
繰延税金資産	349,696	341,012
長期預金	100,000	100,000
差入保証金	981,505	972,421
投資その他の資産合計	1,753,391	1,864,674
固定資産合計	13,064,518	13,387,438
資産合計	18,175,551	18,174,757

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,327,665	3,253,532
短期借入金	1,950,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	469,835	479,837
リース債務	292,540	346,218
未払金	398,535	394,839
未払費用	287,865	307,944
未払法人税等	31,648	30,657
未払消費税等	—	80,517
前受金	15,822	41,465
預り金	634,238	773,443
賞与引当金	81,352	204,939
流動負債合計	6,489,503	6,763,395
固定負債		
長期借入金	4,090,181	3,732,746
リース債務	711,133	751,172
退職給付引当金	821,186	820,903
長期預り保証金	244,694	238,769
資産除去債務	81,591	97,390
長期末払金	21,650	21,650
固定負債合計	5,970,436	5,662,632
負債合計	12,459,940	12,426,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	2,157,903	2,093,524
利益剰余金合計	4,622,903	4,558,524
自己株式	△2,054	△2,054
株主資本合計	5,613,872	5,549,493
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	101,738	199,236
評価・換算差額等合計	101,738	199,236
純資産合計	5,715,610	5,748,729
負債純資産合計	18,175,551	18,174,757

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	26,933,583	27,289,185
売上原価	19,516,270	19,845,873
売上総利益	7,417,313	7,443,312
営業収入		
不動産賃貸収入	184,135	184,688
営業収入合計	184,135	184,688
営業総利益	7,601,448	7,628,000
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	232,633	233,963
配送費	628,506	646,126
販売手数料	100,762	118,653
給料及び手当	1,381,143	1,330,979
賞与引当金繰入額	225,430	204,939
退職給付費用	72,945	48,663
雑給	1,743,056	1,795,249
水道光熱費	719,175	740,499
減価償却費	411,876	461,836
地代家賃	495,101	495,232
その他	1,525,760	1,521,537
販売費及び一般管理費合計	7,536,393	7,597,681
営業利益	65,055	30,319
営業外収益		
受取利息	3,199	3,161
受取配当金	8,086	11,763
受取事務手数料	1,320	4,043
雑収入	20,178	28,215
営業外収益合計	32,785	47,184
営業外費用		
支払利息	30,223	48,248
雑損失	1,663	11,240
シンジケートローン手数料	40,668	606
営業外費用合計	72,554	60,095
経常利益	25,286	17,408
特別利益		
受取補償金	61,200	—
特別利益合計	61,200	—
特別損失		
減損損失	8,476	1,677
固定資産除売却損	19,762	7,663
その他	1,491	—
特別損失合計	29,729	9,340
税引前四半期純利益	56,756	8,068
法人税、住民税及び事業税	41,765	46,318
法人税等調整額	△9,980	△37,066
法人税等合計	31,785	9,251
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,970	△1,183

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)及び当第3四半期累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

当社は、生鮮食料品を中心に一般食料品及びファミリー衣料品を販売の主体とするスーパーマーケット事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	411,876千円	459,330千円
のれんの償却額	—	2,505
合計	411,876	461,836